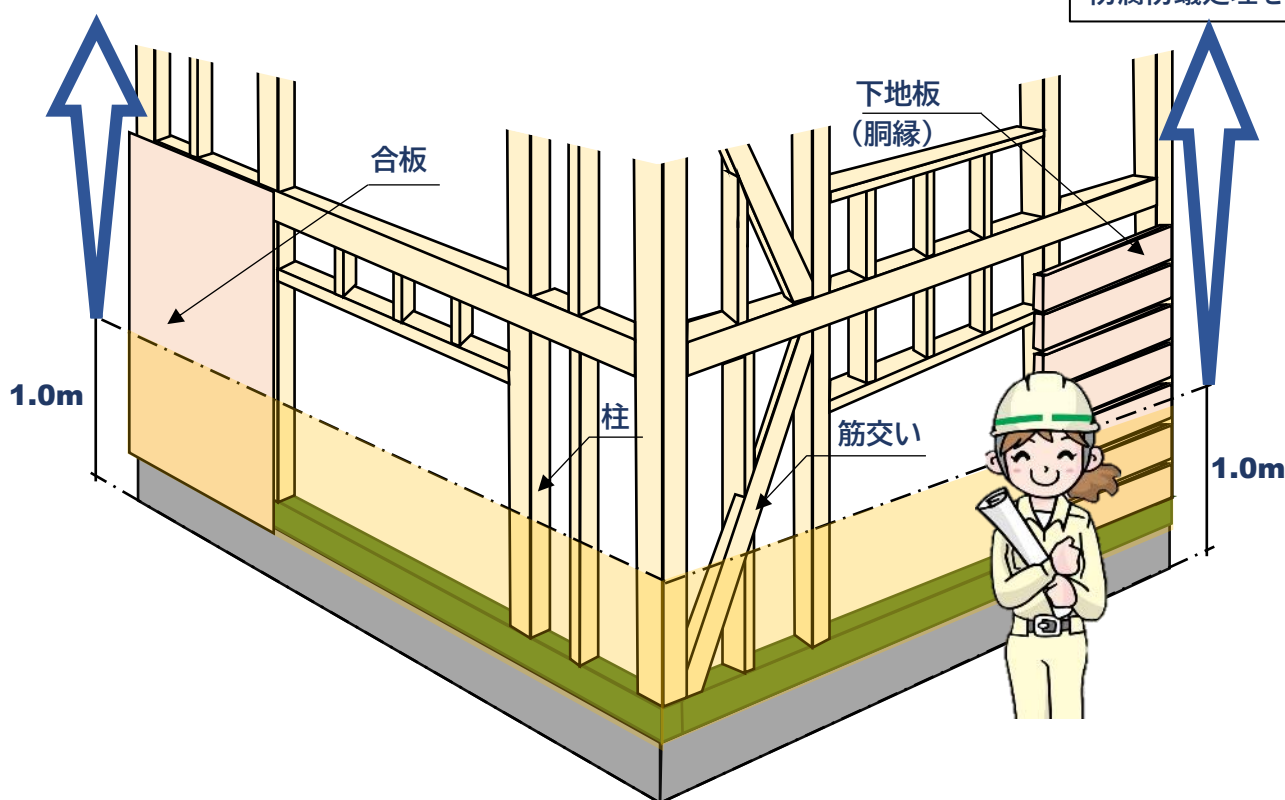


外壁の全ての柱・枠材・筋かい・ 間柱・耐力面材・胴縁等に 保存処理を！

軸組

構造上重要な部位や 維持管理が難しい
部位、劣化しやすい部位には
入念な対策を推奨いたします。

1.0m以上にも
防腐防蟻処理を！！



劣化対策等級3 【外壁の軸組等】

柱、間柱、梁、筋かい、耐力面材、下地材(胴縁)など …地面から1mまでの措置

○外壁を通気構造とした場合、下のいずれかとする。

※通気構造又は軒の出90cm以上の真壁構造のGL1m以内に次のいずれか

- ①薬剤処理(防腐・防蟻に有効な薬剤による表面処理、注入処理、接着剤混入処理など)
- ②D1の製材・集成材などで、特に耐久性が高いもの(ヒノキなどの特定樹種)
- ③D1の製材・集成材などで、小径が12cm以上を使用
- ④製材・集成材などで、小径が13.5cm以上を使用

※外壁が通気構造でない場合は、JAS K3相当以上の保存処理のみ

(「住宅の品質確保の促進等に関する法律」より抜粋)

非通気構造の外壁に保存処理した柱・間柱を！

-長期優良住宅の要件としてJAS K 3相当以上の保存処理が求められます-

●省エネ基準の適合義務化によって外壁の仕様が変化しています

2025年4月以降に着工する全ての住宅に省エネ基準への適合が義務付けられます。住宅メーカー様・工務店様では断熱性能を高めるために充填断熱と外張断熱を組み合わせた「付加断熱(W断熱)」を採用する事例が増えています。

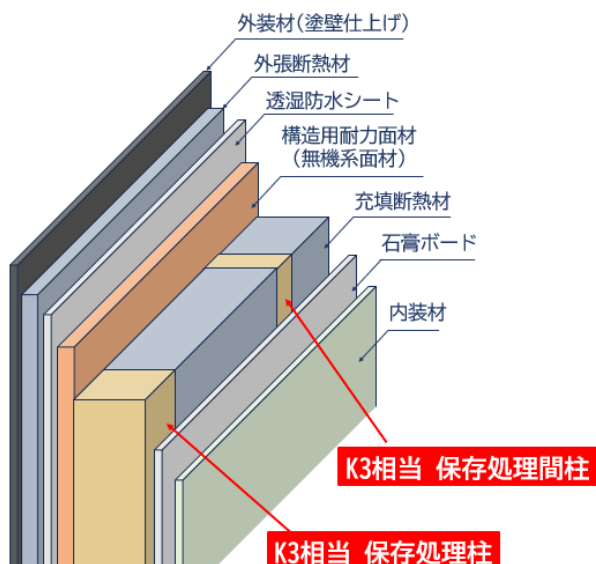
面材の外側に断熱材を貼ることで外壁が厚くなりますが、狭小地では通気層を設けない、「非通気構造」を採用することで、外壁の厚さの増加を最小限とする事例もあります。

●当社で保存処理した柱・間柱は長期優良住宅に対応できます

非通気構造で長期優良住宅を取得する場合、外壁の軸組等には劣化対策等級3の要件を満たす必要があります。ヒノキなどの高耐久樹種の無処理材では対応できず、AQ2種(JAS K3相当)以上の保存処理が必須となります。

弊社では処理による寸法変化が起きない薬剤で柱・間柱等へAQ2種(JAS K3相当)の保存処理を施すことが可能です。ぜひ、ご検討ください。

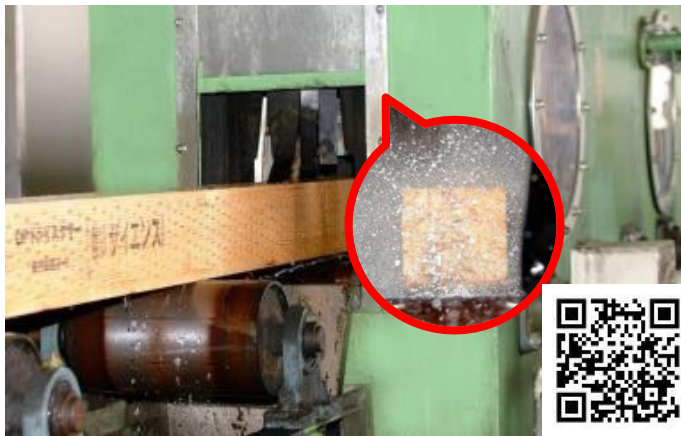
非通気構造+付加断熱の外壁モデル図



非通気構造における保存処理柱の採用事例



雨水の侵入や結露等により思わぬ部位で腐朽や蟻害が発生する事例があります。 建築現場では足場が必要な高さでも『工場処理』でお応えします。



■ 深浸潤処理（柱・間柱・筋交い）



■ 加圧注入処理（貫・胴縁などの小割材）



■ 表面処理/吹き付け（柱・間柱・筋交い・面材）



■ 表面処理/浸漬（間柱・筋交い・面材）

処理方法	概要	劣化対策等級	特徴	薬剤(色)
深浸潤処理	乾燥した木材の表面にインサイジングを行い、油性薬剤にて深く薬剤を浸潤させる方法	劣化対策等級3 (外壁の通気層の有無を問わない)	寸法安定性に優れる AQ2種(JAS K3相当) の保存処理	サンプルザーOPエース (無色)
加圧注入処理	加圧注薬缶を用いて薬剤を木材に注入する方法	劣化対策等級3 (外壁を通気構造とした場合)	着色により無処理材との 識別が容易	タナリスCY(緑色) ペンタキュアニューBM (無色・赤色)
表面処理 (吹き付け処理)	木材に薬剤を吹き付けて処理を行う方法	劣化対策等級3 (外壁を通気構造とした場合)	寸法安定性に優れる 面材は部分的な処理も 可能	サンプルザーOPエースT (無色)
表面処理 (浸漬処理)	薬剤中に木材を浸漬させて処理する方法	劣化対策等級3 (外壁を通気構造とした場合)	着色により無処理材との 識別が容易 部分的な処理も可能	サンプルザーPW96 (オレンジ色)

※樹種、寸法に制限がございます。詳細はお問い合わせください。

